

人文学部英語学科

学位（教育）プログラム名：英語英米文学

本プログラムでは、国際化や異文化との共生がますます進む状況下において、異文化を理解し、国際社会、地域社会における諸問題を解決するために貢献できる人物を育成するために、次のような方針に基づくカリキュラムを編成しています。

1. 総合教養科目により、21世紀に生きる社会人としてふさわしい一般教養を幅広く身につけます。総合教養科目には人文科学・社会科学・自然科学の3領域に分類されるもの、3領域の垣根を超えて総合的に学ぶ総合系列科目、学びの基礎を身につけ卒業後の学びやキャリアデザインを扱う学修基盤科目があります。関連教育科目も用意されており、教養をさらに幅広い、さらに深いものにもすることもできます。
2. 第一外国語、第二外国語の学習を通じて、英語そして英語以外の言語及びその文化面の知識も修得します。また、保健体育科目によって心身の健康の保持・増進を意識的に行う習慣を身につけます。
3. 専門教育科目は「英語の知識・技能」を高めるものと専門領域を深く学ぶ「学術分野」に分けることができます。前者には「英文法」「英会話」「英語読解」「英語ライティング」「英語プレゼンテーション」「英語圏文化研修」などがあり、英語の四技能（話す・聞く・書く・読む）をバランス良く身につけ、英語の総合的な運用能力を培います。後者は、4つの専門分野「英語学」、「スピーチ・コミュニケーション」、「イギリス文化・文学」、「アメリカ文化・文学」をベースに異文化理解の姿勢を身につけるとともに、情報の収集・分析・発信の方法、広範かつ汎用的な専門知識を段階的に学んでいきます。一年次には、上述の4つの分野の基礎を「英語学概論」、「スピーチ・コミュニケーション概論」、「イギリス文化・文学概論」、「アメリカ文化・文学概論」で学びます（ツリーの「学術分野の基礎的領域」参照）。2年次以降は、「言語・コミュニケーションコース」、「文化・文学コース」の2つのコースに分かれ、「英語史」（言語・コミュニケーションコースの2つの領域をカバー）や「英米文学入門」（文化・文学コースの2つの領域をカバー）などの科目により、それぞれのコースの専門領域を深く学ぶと同時に、4つの領域を横断する「英語音声学」などの科目を通じて総合的に学んでいきます。4つの領域を専門的にさらに深く学ぶのが3、4年次の「演習 I」、「演習 II」です。少人数のクラスで、英語テキストの読解、情報の収集、吟味・分析を行い、自分の考えを発表する能力を育成します。それぞれの学術分野について主体的に学び、研究、発信することを最終的な目標とします。それを卒業論文、卒業研究にまとめ上げ、統合的・発展的領域まで引き上げることもできます。